

2021 年度 大学行政管理学会 研究会・研究グループ活動 報告書

研究会等名称 (設置地区)	教育マネジメント研究会
活動目的	2006年7月の発足以来、学生の「多様化」に対応した「教育力の強化」、大学の教育体系をマネジメントする普遍的手法の開発、を課題としてきた。アカデミック・アドミニストレーターとしての実践的・理論的研究を展開し、学生の主体的な学びを促進するための実践のなかで、教育とマネジメントを関連づけた理論と実践の架橋、あるいはこれらを往来する研究を通して、現場の課題に迫ることを目指し、活動を行っている。
参加資格・条件	「教育マネジメント」分野での経験や見識のある方、当該分野に関心をもっておられる方であれば、どなたでも参加可能です。関西地区、中部地区、関東地区にサブリーダーを置き、各地区での意見交換等を行いながら、研究会全体での動きを活発にしていきたいと考えています。ご興味のある方はリーダーまでお気軽にご連絡ください。
活動状況 ①開催ペース (毎月1回、第何曜日など) ②主たる開催場所 ③主な活動経過 ④現在の活動状況・研究テーマ等	<p>① 開催ペース 年間2回程度の研究会の週末開催を検討している。また、中部地区において定期的な学習・研究会を開催している。</p> <p>② 主たる開催場所 関西、中部の研究会メンバーの所属大学を中心に開催。</p> <p>③ 主な研究活動 研究会では、これまで「大学教育の革新とマネジメント」、「高等教育研究センターの役割」「主体的な学び(ディープ・アクティブラーニング等)」「ラーニング・ブリッジ」「教育・学習支援に求められる専門性や専門職の可能性」などについて、外部講師などによる基調講演・事例報告をもとに、参加者間によるグループワークを通して、メンバーによる課題等の認識共有、ならびに取組事例等についての討議・意見交換を行うことにより、会員間での課題意識や取組事例を共有する場を設けてきた。また、定期的な学習・研究会の開催を続けている。</p> <p>④ 現在の活動状況・テーマ等 「学生の学びと成長」に関連するテーマ(ディープ・アクティブラーニング、ラーニング・ブリッジ、学習支援など)、教育マネジメントのための組織・人材に着目したテーマなどについて、研究会メンバーによる学習・研究会、あるいは外部講師を招へいしての研究会を開催する。 現在、文部科学省の政策の中において「教学マネジメント」という言葉が何度となく出てきている。教育内容や教育手法等に限らず、大学教育全体をマネジメントする組織や人材、システムにかかる課題が近々の課題に挙げられている。 大学行政管理学会において「教育のマネジメント」をテーマに掲げる当研究会は、今後の大学運営において重要な役割、使命を担っているとも言え、今後も様々な活動を通じて、大学教育のマネジメント、教育アドミニストレーターにかかる実践事例、研究成果の創出に取り組んでいきたい。</p>
その他	